

海洋調査技術学会

第31回研究成果発表会 プログラム

- 期 間 2019年11月28日（木）～11月29日（金）
- 場 所 東京海洋大学越中島キャンパス 85周年記念会館 1F 大集会室
〒135-0044 東京都江東区越中島2-2
- 参加費 無料
講演要旨集 1,000円（会員） 1,500円（非会員）
- 主 催 海洋調査技術学会
- 協 賛 海中海底工学フォーラム ZERO、(NPO 法人) 海洋音響学会、(一社) 海洋調査協会、(一社) 可視化情報学会、(一社) 資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、(公社) 土木学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、(NPO 法人) 日本海洋工学会、(NPO 法人) 日本火山学会、(公社) 日本航海学会、(公社) 日本地震学会、(一社) 日本写真測量学会、(公社) 日本水産学会、日本水産工学会、(公社) 日本船舶海洋工学会、(一社) 日本リモートセンシング学会、(公社) 物理探査学会 (50音順)

第1日 11月28日(木)		
開会挨拶	道田 豊 会長	10:00~10:05
特別講演	司会 道田 豊 (会長) 『海洋プラスチック』	10:05~12:05
	「海洋マイクロプラスチック実態把握研究の動向」	10:05~11:05
	伊藤 進一 (東京大学大気海洋研究所教授) 道田 豊 (東京大学大気海洋研究所教授)	
	「プラスチック循環社会に向けた化学産業界の取り組み」	11:05~12:05
	森川 宏平 (石油化学工業協会会長/昭和電工株式会社代表取締役社長)	
昼 食		
通 常 総 会		13:15~14:15
研究成果発表(1)	座長 小田巻 実 (元海洋情報部)	14:20~15:00
1.	ウニ回収 ROV の回収システムの概要と実地試験結果 ○伊藤 魁・後藤 慎平・和泉 充・井田 徹哉・田原 淳一郎(東京海洋大)	
2.	Speedy Sea Scanner を用いた久米島沿岸域海底調査と U-net によるサンゴ被度評価とその考察 ○萩野 誠一郎・水野 勝紀(東大新領域)・坂本 真吾(ウインドーネットワーク)・寺山 慧(理化研・京大医学研)・鈴木 翔太・多部田 茂(東大新領域)	
機器展示案内 (8社)	司会 久保田 隆二 (川崎地質)	15:00~15:40
展示タイム/休憩		15:40~16:10
研究成果発表(2)	座長 篠原 雅尚 (東京大学地震研究所)	16:10~17:30
3.	ナウファスの将来展望に関する一考察 ○永井 紀彦 (エコー)	
4.	GNSS-A 海洋学で見る黒潮大蛇行時の海洋場 -紀伊水道沖と豊後水道沖- ○横田 裕輔(東大生産研)・石川 直史・渡邊 俊一・中村 優斗(海洋情報部)	
5.	洋上風力発電施設の地盤調査船の実海域動揺計測 ○岩下 遼・茂手木 竜也・山田 瑞熙・永井 裕・齋藤 真一郎(深田サルベージ建設)	
6.	潮汐研究の歴史的展開と新地平 D.E. Cartwright 著 “Tides, A Scientific History” の紹介 ○小田巻 実(元海洋情報部)	
懇親会 和菜「毬乃」(まりの)		
東京都江東区越中島 1-2-18 深川スポーツセンター1F		18:00~20:00

第2日 11月29日(金)

研究成果発表(3) 座長 海宝 由佳(海洋研究開発機構) 9:30~10:50

7. ミクロネシア・トラック島における磁気探査機を用いた沈没艦船捜索について
○佐々木 いたる・尾城 隆紀・大橋 孝輔・高田 敏訓(アーク・ジオ・サポート)
8. 水中音響機器の災害復旧における有効活用
○山路 修平(アーク・ジオ・サポート)
9. 水中音響カメラの機能及び特性とその活用方法について
○川本 豪・下田 孝行・米塚 昇司(アーク・ジオ・サポート)
10. GNSS-A 海底地殻変動観測によって捉えられた南海トラフの浅部スロースリップ
○石川 直史(海洋情報部)・横田 裕輔(東大生産研)・渡邊 俊一・中村 優斗(海洋情報部)

休憩 10:50~11:00

研究成果発表(4) 座長 笠谷 貴史(海洋研究開発機構) 11:00~12:20

11. ROV 用小型海底掘削機の開発
○田島 史郷(鈹研工業)・山崎 俊嗣(東大大気海洋研)・高川 真一・宇都 巨貴・末次 健太(鈹研工業)
12. 航走観測を主体とした熱水鉱床探査(その5) -中部沖縄トラフ海域における精密地形, 電気および重力探査-
○久保田 隆二(川崎地質)・石川 秀浩(三井金属資源開発)・押田 淳(川崎地質)・松田 健也(国際航業)・角 知則(日鉄エンジニアリング)
13. 深海曳航型ピエゾ震源を用いた海底熱水鉱床探査
○多良 賢二(J-MARES/JGI)・加藤 政史(JOGMEC)・Ehsan Jamali Hondori(東大)・浅川 栄一(J-MARES/JGI)
14. 船舶ならびに自律型深海探査機「じんべい」による未知海底熱水活動域における音響探査 -SIP 海のジパングの調査技術プロトコルに則った絞り込み調査-
○金子 純二・笠谷 貴史(JAMSTEC)・高橋 亜夕(JGI)

昼食

特別セッション 座長 巻 俊宏(東京大学生産技術研究所) 13:30~16:30

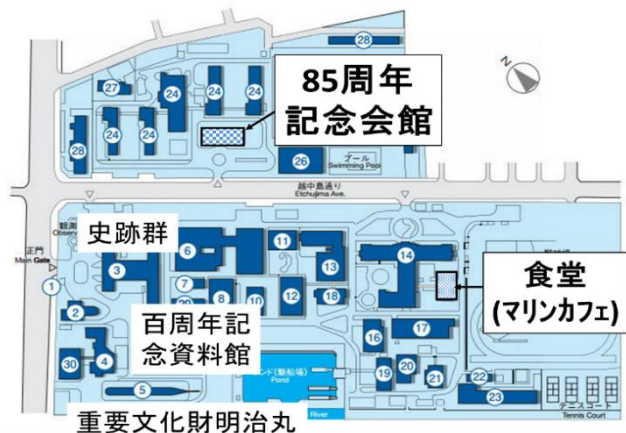
『AUV はここまで来た“海の全自動探査に向けて”』

- I. 国際チームで挑んだ無人深海マッピングの次世代ソリューションの技術開発:
GEBCO-Nippon Foundation Alumni Team の XPRIZE 優勝
○住吉 昌直(海洋情報部)・GEBCO-NF Alumni Team
- II. 無人ロボットによる海底探査のための深海から陸上までを繋ぐ通信
~Shell Ocean Discovery XPRIZE における Team KUROSHIO 通信チームの挑戦~
○西谷 明彦・小島 淳一(KDDI 総合研究所)
- III. Team KUROSHIO のデータ処理 ~ XPRIZE 決勝ラウンド in カラマタ ~
○徳永 航・高江洲 盛史・久野 光輝・倉本 佳和(日本海洋事業)・小池 哲(東大生産研)・小島 淳一(KDDI 総合研)・稲葉 祥梧(海上技術安全研究所)

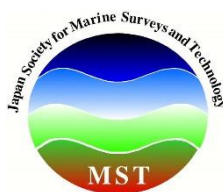
休 憩		15:00~15:10
IV.	複数の自律型海中ロボットの連携による水中完結型の海洋調査手法 ○松田 匠未・巻 俊宏・坂巻 隆(東大生産研)	
V.	テレロボティクスインターフェイスを有した生物捕獲用自律型海中ロボット ○西田 祐也(九工大)・園田 隆(西工大)・安川 真輔(九工大)・安鐘 賢(広工大)・渡邊 啓介(東海大)・石井 和男(九工大)	
総合討論		16:10~16:30
若手優秀発表賞 審査結果および授与式		16:30~16:35
閉会挨拶 加藤 幸弘 副会長		16:35~16:40

海洋調査・測定機器展示	会場 85周年記念会館 1F 多目的室
11月28日(木) 10:00~17:00、29日(金) 9:30~16:00	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈹研工業株式会社 ・ 日本海洋株式会社 ・ 株式会社昌新 ・ マリメックス・ジャパン株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社鶴見精機 ・ JFE アドバンテック株式会社 ・ 株式会社東陽テクニカ ・ 株式会社海洋先端技術研究所

会 場 案 内



東京海洋大学越中島キャンパス (東京海洋大学 HP より)
11月28日(木) は明治丸記念館・百周年記念館見学可
開館時間 10:00~15:00



海洋調査技術学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル9階
株式会社毎日学術フォーラム内
Tel 03-6267-4550 Fax 03-6267-4555
URL : <http://jsmst.org/>